

【日時】 2012年4月15日(日)

【メンバー】 L木下 長谷川(じ) 前田(た) 前田(奈)

年に一度は行きたい「カニ山行」、アマナ平にBCを置いて昼闇山・海谷周辺を滑るつもりでいたが土曜日はやっぱり雨。前日は日本海の幸や温泉で英気を養って、日帰りの周遊ルートへ変更した。メリハリの利いた良きルートでした。



4/14 雨

買出し、それから砂場～前烏帽子ルートのアプローチ偵察、焼山温泉へと時間を使って、午後の雨上がりを待つ。残念ながら降りやまず、宴会へ突入。泥えび、ぶり、ホタルイカの肴、ゲンギョ鍋、そしてカニと海の幸を堪能したのでした。

4/15 快晴

4時前に起床すると満天の星、「今日はいける！」笹倉温泉の駐車場に車をデポして出発。この晴を待っていたパーティが続々と集まってくる。橋のところまでは除雪されているが2mほどの雪の壁、橋を渡ってスキーをつける。つづら折れをショートカットしながら北面台地の一角に登ると火打と焼がドーンと現われる。高松山はその前衛、雪庇の張り出した細い稜上のピーク。

台地上の小ピークを巻いたり乗り越したりしながらやや右手にルートを取りながら進むと広い雪原が現われる、アマナ平だ。ここでおよそのパーティは焼山方面へ向かっていく。アマナ平を横切り、尾根の取付きで大休止。今年はいつまでも降雪が続き、今日は久しぶりにのどかな春の景色を楽しめる。

尾根の急登は長谷川(じ)、前田(た)、前田(奈)君の3人がグイグイ登っていく。細いながらもスキーが十分使える尾根で、北面台地のパノラマが素晴らしい。ピーク手前はさらに急になり先行パーティはつぼ足になったが、前田(た)君がスキーでトレースを引ききってピークに出た。自分はピーク直下の急斜面で太股が



つってしまい、しばし休憩を入れる。(結構痛いもんですね・・・) ゆっくりとピークに出ると3人が出迎えてくれて、長谷川(じ)君が氷小豆・ミルクを振舞ってくれた、「うまい！」



さて、滑降だ、5-10cm程の新雪、少し重いが快適。先行パーティのシュプールをはずしてルート取りすると大きなスラフが発生、浅いので問題ないが雪崩のメカニズムの一端を目にする。ノントラック斜面を滑ろう！ということで標高1550m付近から再び稜線(1700m)へ登り返す。今度は発生するスラフに注意しながら広い斜面を自由

に、思い思いのシュプールをつけた。一の倉川の沢床に降り立ち、広い沢筋にスキーを走らせるが急にブレーキのかかる雪質、結構疲れる。数箇所のでぶり帯は問題なく通過し標高800m付近から新田山へ登り返す。ここは底雪崩の最中でブロックの中を通過する。鞍部より滑降することも出来るが新田山まで登り最後の展望を楽しんだ。ここからはザラメの感触、ゲレンデのような斜面を滑り、林道へ。笹倉温泉の建物が見えたところで沢に強引に下りる。上部で取水しているので水量も少なく容易に渡れた。



笹倉温泉で汗を流し、能生の道の駅で海の幸のお土産を買って、帰京。

【行程】4/15 笹倉温泉(6:00)-アマナ平(8:25-50)

-高松山(11:05-30)

-1550m(11:50)-稜

線・1700m(12:20)

-800m林道登返地点

(13:10-30)-新田山

(14:10-25)-笹倉温

泉(14:50)

登滑降高度：1700m



【地図】湯川内 Photo: Jun